

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 24名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・教室の環境面の質問に対して、半数が「適切である」、半数が「どちらとも言えない」と回答をしている。教室の広さを考慮し、時間枠の受け入れる最大人数を常時検討している。
- ・毎日の掃除は徹底しているが、トイレや水道付近は清潔感に欠けていたり暗い雰囲気があるため、清潔感のある環境づくりの工夫が必要である。

○業務改善

- ・職員間でミーティングの時間を設けているが、全員で話し合う時間は限りがあるため、記録やPCを活用して情報の共有ができるように工夫している。
- ・指導員の支援の質の向上の為に全社で階層別の研修を実施している。

○適切な支援の提供

- ・日々のミーティングを通して支援に関する意見や子どもの様子等を話し合い、5領域に合わせて個別支援計画の課題・目標に沿って内容や進め方を検討している。
- ・お子様の年齢や課題に合わせて個別・小集団・集団のプログラムを検討・実施している。

○関係機関や保護者との連携

- ・半年に一回の面談や日常でのフィードバック後の時間を使って保護者とお子様の様子について共有し、今のその子に合った支援をその都度検討している。
- ・必要に応じて担当者会議への参加、園訪問を実施し関係機関で統一した支援の提供ができるよう心掛けている。また、モニタリングについても定期的に相談支援員と連携し、教室に様子を見学に来ていただいている。

○保護者への説明責任等

- ・契約書類に関しては契約時に説明を行い、同意を得ている。
- ・日々のフィードバックを通して支援の内容やお子様の様子をお伝えし、保護者の方から相談があった際には助言をしたり、ご家庭や教室で出来る対応をお伝えしている。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアルの作成をしている。
- ・毎月避難訓練週間を設けることで、どの曜日を利用していても毎月避難訓練に参加できるような工夫をしている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室の環境について、「人数が多いときは少してせまかなと思うこともあるが基本的には十分な広さだと思う」「手洗い場の床が濡れていることがある」「人数が多いときは狭く感じる」「下駄箱に靴が入りきらないときがある」とのご意見をいただいた。
- ・職員体制に関して少なからず改善を求めのご意見があったが「手厚く支援していただいている」というご意見もいただいた。

○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか」という質問に対して90%以上の方が「はい」と回答。一方で「どちらともいえない」と回答もあった為こどものことを更に理解し一人一人に合わせた支援を実施できるよう心掛ける。
- ・「事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」という質問に対して「月によってテーマが変わる」「イベント等もありメリハリがあっている」というご意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・「日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか」の質問に対し、「毎回フィードバックを通してその日の様子を教えていただけるので満足」とのご意見をいただいた。また、「家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか」という質問に対しおよそ半数の方が「いいえ」と回答。一方で「都度必要なことを一緒に考えて自宅でもできるように考えてくれている」とのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・「非常災害の発生の備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」という質問に対して、「はい」と回答した方が75%だった。その他「わからない」との回答も頂いたため、引き続き、必要な訓練を行っていることを全てのご利用者へ周知していく。

○満足度

- ・教室体制に関するご意見はあったものの「支援に満足しているか」という質問に対し、90%の方から「はい」と回答をいただき、「子供のために本人が嫌がらず楽しみながら成長するために色々工夫していただき満足」とのご意見をいただいている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・毎月、曜日を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くのご利用者に対して訓練を実施する。また、避難訓練実施前後には実施日や内容等を掲示物として貼りだし、周知を行っていく。
- ・毎月、相談室や玄関口に月間の支援スケジュールを掲示し、全体フィードバック時に当日の活動内容について共有する。また、イベントを実施する場合はお便りを配布し、ブログを通して様子や実施内容を発信する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・避難訓練を月1回から1週間に増やし多くのご利用者が訓練に参加することができた。また、教室の玄関口に支援の月間スケジュールとして避難訓練の実施日を掲示しフィードバックでも活動の様子について周知した。
- ・ブログの発信ができていない為、季節ごとのイベント実施等定期的に教室の様子や活動内容等について発信していけるようにする。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子どもの特性に合わせた支援の提供ができています。
- ・日々の支援後のフィードバックの実施や保護者とのコミュニケーション、情報共有がしやすい環境になっている。
- ・毎月のプログラムが固定化されず様々な内容の提供ができています。

○改善点

- ・避難訓練を教室として実施しているが、非常災害の発生に備え、指導員間での必要な訓練を行う。
- ・環境整備の一環として、下駄箱の増設、トイレや手洗い場付近の清掃をより丁寧に行い清潔で過ごしやすい環境を保つ。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・トイレ・手洗い場の衛生環境を清潔に保ち、改善できる箇所の改善を行う。
- ・玄関付近の環境整備。
- ・保護者参加型の療育参観や保護者会の実施。
- ・児童のみではなく指導員のみでの訓練の実施。

○1年間で取り組む具体策

- ・手洗い場の踏み台の買い替えの検討や照明の切り替え等で雰囲気改善を実施。
- ・指導員と利用者の下駄箱を分け、下駄箱の増設や玄関付近の空間を有効活用し環境整備を行う。
- ・職員のみでの避難訓練を実施、実際起きた場合を想定して各指導員の動きの確認を行う。
- ・保護者参加型のイベントや療育参観、保護者会を実施し、保護者同士の交流や情報共有の機会を設ける。